

令和2年5月11日

保護者の皆様へ

武蔵野東学園

### 東学園の感染防止対策について

長引くコロナ問題の中で保護者の皆さまも種々ご苦勞なさっておられることと拝察いたします。学園は家庭学習支援のために教師たちが打って一丸となつて取り組んでいるところです。しかし学園が切望していることは一刻も早く開校し、平常通りの授業ができるようになることです。いつでも安心して授業再開できるよう準備をしております。

#### 感染防止体制

コロナ感染拡大防止の心構えとして、

- 1 「密閉」「密集」「密接」を避けるとともにマスクの着用を怠らないこと
  - 2 感染は飛沫感染以外に「人→物→人」で起きることが多いので、手指消毒や手洗いを励行し、また人が触るものをこまめに消毒すること
- この2点が肝心と言われております。

第一点ですが、学校は一般の事務所施設などに比べスペースを広くとっています。特に教室は窓が広く授業などでは窓を大きく開けますので、「密閉」にはなりません。学年別登校、クラスを分けて授業をするなど児童生徒が「密集」することを避けることもできます。

しかし「密接」については若干の懸念があります。児童生徒にはマスクの着用を義務付けますが、自由登校日などで見られたことですが、児童生徒たちは、久しぶりに会った級友とうれしさのあまり肩を組んだり抱き合うなどの行動に走りがちです。この点は教師の臨機応変の指導によりそれを回避する必要がありますが、総じて「3密」対策は可能と考えられます。

第二の点ですが、登校中の児童生徒が、バス電車内で手すりなどにつかまったり、物に触ったりすることで、コロナウイルスを学校に持ち込む危険があります。そのため学園は校門のそばにアルコール消毒液を置き、児童生徒には手

指消毒をしてから建物に入るよう指導します。

また各校は次亜塩素酸水製造装置を備えており、水道水と塩をまぜ電気分解することで、いくらでもコロナウイルスに有効な消毒液を作ることができます。さらに噴霧器を常備し、各校内の下駄箱、手すり、ドアノブ、机や椅子など、人の手が触る可能性のある場所に消毒液を噴霧することで、コロナウイルスを排除できる体制にあります。

なお児童生徒のマスクが、学内活動で紛失、破損、汚損した場合には、学園備蓄のマスクを支給します。(学園は従来からの備蓄分に加え、国や市、関係先から寄贈を受けているため、十二分な数のマスクを確保しています)

児童生徒の登校再開がいつになるか分かりませんが、その時の為にこのような対策を講じておりますので、学校施設内は、人の行き来が頻繁な商店街や公園などと比べより安全な空間であることをご承知おきください。